保健医療局 質の高い保健医療サービスを提供し、都民の生命と健康を守る。

東京医科大学 TOKYO MEDICAL UNIVERSITY

緩和ケア研修会への参加

2024 年末

いまや２人に１人（男性）、３人に１人（女性）が癌に罹患する中、病状によってはStage IV と呼ばれる疼痛コントロールやリハビリといった保存的治療のみで対応せざるを得ない事もあります。自分もそうですが、いつ癌に罹患したり心筋梗塞による瀕死の状態になるかもしれない不安は常にあります。これらのリスクは年齢問わず、いつでも起こります。そのため、来院いただいている皆さんには水分補充の推奨や採血を含めたがん検診、胃カメラや CT、MRI 等での病気の早期発見の必要・重要性を説明し、少しでもそれらのリスクを減らせられる様サポートさせて頂いております。

ただ残念な事に病気は突然やって来ます。手術においても、術前検査では見えてなかった様なリンパ節転移や血管浸潤、周囲臓器へのガンの浸潤。病気が進んで手術が出来ない事、これまでにもたくさん経験させて頂きました。

しかし患者さんやご家族への治療は終わりではありません。自分は外科医ですが、手術で治療をする事だけが全てではなく、今では緩和療法と呼ばれる痛みや不安、不眠に対するターミナルケアを専門とするチーム医療（麻酔科、ペインクリニック、リハビリ・理学療法科等との連携）と連携を図る事で、患者さんやご家族の支援を提供させて頂く事ができます。

自身も手術後の患者さんに対して、これらの治療への取り組みは 20 年以上経験しておりますし、この度、大学での研修にも参加してきました。現在、軽井沢町内でも訪問医療やそれを支援する行政機関や病院が増えてきました。脳梗塞に罹患した場合も含め、日常生活や仕事への支障が出る可能性などもある事から、患者さんやご家族の不安は計り知れません。今回の研修を通じて、皆様の不安の相談ができるクリニックとなり、少しでも軽減ができるよう一緒に歩んでいけたらと思っております。